

令和2年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	静岡県立浜松特別支援学校 城北分校 P T A
学 校 名	静岡県立浜松特別支援学校 城北分校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	54人

1. 使用状況

寄贈物品名	トーンチャイム 4セット
使用学年及び人数	高等部全学年(54人)
使用頻度	6月中旬～11月1日までの間(音楽の授業 毎時間)
使用状況	各学年とも、学期の終わりに、音楽の授業内でミニ発表会を行った。その中で学年18名全員で、寄贈していただいたトーンチャイムで合奏を行った。
物品の使用による変化や効果	昨年度までは歌唱と鑑賞中心の授業で、器楽演奏をする場合は他校から楽器を借用していた。しかし、借用した楽器は数に限りがあり、生徒の人数や実態から考えると活動量や達成感に不十分さがあった。寄贈していただいた楽器は、音域の広さや豊かな音色が素晴らしく、また演奏経験のない生徒たちにとって興味や関心、知的好奇心を揺さぶられるものであり、一人一人が集中して意欲的に授業に取り組むことができた。生徒一人当たり2本から5本と実態に応じて音を割り振ることもでき、個に応じた課題を設定することができた。一つの曲を学年全員で仕上げることを通して、友達の音に耳を傾けたり、互いに教え合ったりする姿も多く見られた。発表会当日は、主旋律や伴奏の各声部が一体となり、クラシックやポップスの楽曲を、素晴らしい音色で演奏した。
今後の活用の見通しや課題	今後も音楽の授業を中心に、様々な曲の演奏に取り組み、演奏の場を広げていく。
その他希望や所感など	

2. 活用の様子

・学年全体(18人)、主旋律パートと伴奏パートに分かれて、一人2本から5本のトンチャイムを演奏しました。主旋律パート、副旋律パート、伴奏パートに分かれ、クラシックやポップスなどの演奏を楽しみました。

